(1) 日本の株式・債券市場

株式市場の動き

- 先週の日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で上昇しました。週前半は、トランプ米大統領の政策への懸念や円高の進行などから下落しました。週半ば以降は、為替市場での円安の流れや、25日（水）にNYダウが初めて2万ドル台に乗せるなど米株高を背景に買い優勢が続き上昇しました。（週末引け値：19,467.40円）
- 週間では、日経平均株価は1.72%の上昇、東証株価指数は1.03%の上昇でした。

出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

債券市場の動き

- 先週の日本債券市場（10年国債金利）は、週前半は、堅調な米債券市場や円高、国内株安を背景に買われました（利回りは低下）。週半ば以降は、25日（水）に日銀が中期ゾーンの国債買い入れオペを見送ったことから国債買い入れオペへの不透明感が広がり、また円安・国内株高なども背景に売り優勢（利回りは上昇）が続きました。（週末引け値：0.084%）
- 週間では、10年国債金利は0.018%の上昇となりました。

出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

(2) 米国の株式市場

市場の動き

- 先週の米国株式市場（NYダウ）は、週初はトランプ米大統領の政策による米景気への影響への懸念などから下落しました。その後は良好な米主要企業決算が好感されて上昇傾向となり、25日（水）にはNYダウが初めて2万ドルの大台に乗せるなど買い優勢が続きました。週末は直近の上昇への反動から手じまい売りが出て4日ぶりに反落して週の取引を終えました。（週末引け値：20,093.78ドル）
- 週間ではNYダウは1.34%の上昇となりました。

出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

(3) 外国為替市場

市場の動き

- 先週の米ドル/円相場は、週初、トランプ米大統領の政策への懸念などから円高ドル安となりました。その後は良好な米主要企業の決算や米景気回復への楽観的な見方、米株高などを背景に円売り・米ドル買いが進行しました。（週末引け値：115円05銭～15銭）
- 週間では米ドル/円は0.42%の円安、ユーロ/円は0.36%の円安となりました。

出所：ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

●当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。●当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料のグラフ・数値等はあくまでも過去の実績であり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。●投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。●手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品をお勧めするものではないので、表示することができません。●当資料のいかなる内容も将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。